

αリポ酸とは何か？

αリポ酸は人間の細胞すべてに存在し、水溶性であるだけでなく脂溶性でもあるため細胞膜を通過し、すべての細胞に自由に入れることができるという特徴がある。

また、血液脳関門(B.B.B.)も自由に通過できる唯一の抗酸化物質である。αリポ酸は肝臓のミトコンドリアの中でオクタン酸(カプリル酸)とシステインから生合成されている。αリポ酸は補酵素として、好氣的解糖であるTCAサイクルをまわして糖代謝を促進し、体内の炭水化物を分解してエネルギーに変え、他の臓器に供給する。

またフリーラジカル・スカベンジャーとして細胞の抗酸化に働いて細胞のダメージを減らすだけでなく、他のスカベンジャーであるビタミンC、グルタチオン、ビタミンE、コエンザイムQ10、NADを再生し、リサイクルする作用をもっており、あらゆる臓器のあらゆる細胞で抗酸化作用を示してフリーラジカルを消去する。

それらの作用の結果、

糖化を抑制して、メタボを改善し、⇒⇒⇒ 糖尿病、高脂血症、動脈硬化症、心疾患

神経を修復し、⇒⇒⇒ パーキンソン病、アルツハイマー病、糖尿病性神経障害

免疫を調整し、⇒⇒⇒ 自己免疫疾患

炎症を軽減し、⇒⇒⇒ フリーラジカルを消去して酸化ストレスを軽減し、NFκBの活性を抑制したり、TNF-αやCOX-2の働きを抑える。

がん細胞のアポトーシスを起こす。⇒⇒⇒ がん

また、強力なキレート剤として、重金属(カドミウム、水銀、銅、マンガン、ヒ素、鉄、カルシウム、亜鉛、鉛…など)を体外へ排泄させる。